

# THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



## WEEKLY

なごや  
ちくさ

題字 黒野 貞夫

名古屋千種ロータリークラブ  
承認 1982年 8月24日  
例会日 火曜日 12:30  
例会場 愛知厚生年金会館  
事務局 ☎763-5110  
会長 野村 義雄  
幹事 深見 章  
会報委員長 北野 寿三郎

No. 24

ROTARIANS-UNITED IN SERVICE  
DEDICATED TO PEACE

ロータリアン——

奉仕に結束—平和に献身

1987~88年度 R I会長 チャールズ・C.ケラー

### 第268回例会 昭和63年1月5日(火) 慶 新年例会

- ◇ “君が代”
- ◇ “奉仕の理想”
- ◇ 出席報告  
 会員 54(53)名 出席 39名  
 出席率 73.58%  
 前回 12月22日 (修正出席率)98.15%
- ◇ ビジター紹介  
 名古屋東RC 余語 栄三特別代表 他3名
- ◇ お誕生日祝福  
 吉田夫人(1/1)、加藤(正)君(1/2)、菊池君(1/2)、松藤君(1/2)、小笠原夫人(1/2)、杉山君(1/2)、木全夫人(1/5)
- ◇ ニコボックス  
 特別代表 余語 栄三君 あけましておめでとうございます。本年もよろしく願いいたします。  
 小林 明君、野村 義雄君、大口 弘和君、林 淳三君、宮尾 紘司君、松居 敬二君、秋山 茂則君 新年明けましておめでとうございます。今年もよろしく御願い致します。  
 浅井 誠寿君 新年おめでとうございます。今年もよろしく願いいたします。  
 短大に英語科ができました。  
 水野 民也君 おめでとう。1月10日に宮様チャリティのTVで一寸顔を出します。  
 武内 清君 明けましておめでとうございます。本年もよろしく願います。  
 菅原 宣彦君 年末、フィットネス会長就任、母の葬儀と会長はじめみな様に大変ご迷惑をお掛けしました。  
 本年もよろしく御願います。  
 加藤 大豊君、青山 敏郎君、和田 正敏君  
 松藤 国弘君、谷口 暢宏君、新美 敢君  
 あけましてお目出度うご座います。  
 本年もよろしく。  
 鷲野 義明君、笹野 義春君、竹内 真三君  
 あけましておめでとうございます。

- 永井 正義君 あけましておめでとうございます。ホームクラブごぶさたしました。
- 吉田 節美君 夫人誕生日祝い。
- 加藤 正義君 誕生日祝い。
- 菊池 昭元君 誕生日祝い、結婚記念日祝い。
- 松藤 国弘君 誕生日祝い。
- 小笠原 清君 夫人誕生日祝い。
- 杉山 貞男君 誕生日祝い。
- 木全 昭二君 夫人誕生日祝い。
- ◇ 米山功労者メダル授与  
 菊池 昭元君
- ◇ 愛知厚生年金会館謝礼
- ◇ 野村会長挨拶

皆さん、明けましてお目出とうございます。どうか本年もよろしくお願い致します。卯年の昨年は国内国外を問わず、大きな問題が次々と起り、大変に慌しい年でありました。本年は辰年です。辰は竜で、想像物であるが、「管子」の中では「竜は五色を身につけて遊んでいる。そこで小さくならうとすれば蚕の如く、大きくなるとすれば天地を入れる。又上ろうとすれば雲をも凌ぎ、沈もうとすれば黄泉に伏す」といっています。全体として竜は瑞兆とされています。本年の辰は戊辰です。

120年前の明治元年は戊辰で、官軍と旧幕府支持派及び東北諸藩との間で戦端が開かれ、鳥羽伏見の戦いとか、上野寛永寺での彰義隊の全滅とかで、幕府支持派は敗退し、徳川慶喜が大政を奉還した年であります。

60年前の戊辰は昭和3年で、今上天皇の即位大典が行われました。

どうも戊辰の年には何か大きな変化が起っている様ですが、果して本年は何が起るのでしょうか。何れにしても竜は瑞兆ということですから、難問題が起ってもそれを解決すれば結果として大いなる前進となっているとい

う様なことが起るのだらうと思っています。

本日は新年を祝する立食パーティでありませんが、大矢君の入会も決まり、新年早々会員増強には誠に縁起のよいスタートであると存じます。12月22日の年末懇親会以来の久しぶりの例会ですので、時間の許す限りご懇談頂きたいと存じます。

~~~~~ 立食パーティ ~~~~~

◇乾杯 余語特別代表



投扇興は江戸時代後半の安永2年に大阪で生まれた遊戯である。創始者は大阪町人の投葉山人其扇で、大変遊び好きの通八で或る日邸で昼寝をしていた。夢から醒めて、ふと見ると脇の木枕に蟻が止まっているので扇子を半開きにして蟻をめがけて投げた所蟻は逃げたが扇子が大変美しく開いて落ちていったのをヒントに考えついたのが投扇興である。最初は穴あき銭12個を錘にして懐紙に包み、おひねりを作って花魁たちに扇子を投げさせ落した者に与えて楽しんでいた様であるが、だんだん世間に広まり町人から大名、大名から公家へ果ては朝廷にまで此の遊びが広がっていった。道具の変遷についても最初のおひねりから金銭銀銭に紅白の水引を結ぶ様になり、寸法や点数の定めも改良されつつ一つの遊戯形式に完成されていった。御所で遊ばれる様になってからは錦の生地や金欄手などを使う一方、錘も鉛に変わり、又現在の様に木目込み風の優雅な的となった。台も桐に置上や金粉を施し、毛氈を敷くとか、扇子を三宝に乗せるとか、又点数などの改訂も源氏物語五四帖に因んで五四の名称を定め、文学的になった。又、更に高級化されて香道まで入り得点に合わせて源氏香を焚くと言った非常に優雅な遊びとして発展した。どうして遊廓の遊びが上流社会に受け入れられたかと言うと当時の遊廓は公家、大名、大商人達の社交場であったので花魁たちも茶道、華道、香道、和歌、書、弓に至るまでマスターしていなければ殿方のお相手は勤まらなかった。大変幅広い教養が要求され、いわば遊廓は文化的サロンであったので、投扇興がここから上流へ入っていっ

たのも不思議ではなく、むしろ自然の成り行きではなかったかと思う。文化・文政の頃まで盛んに行われたが残念な事に江戸浅草寺の境内において、これを賭博に利用した事から文政5年8月江戸幕府より停止命令を受け、それ以来投扇興の姿は消えてしまった。現在三井寺円満院の門跡様や浅草の保存会が復活に力を注いでおられる。私も2年前、名古屋に保存会を作り、此の優雅なるメンタルスポーツを復活させたいと願っている。



新年例会は、投扇興が行われました。

優雅な遊戯を楽しみながら、それぞれのお正月の話でにぎやかでした。

◇青少年奉仕委員会より

「冬の青少年を守る運動」街頭キャンペーン  
名古屋市青少年育成市民会議の主催による「冬の青少年を守る運動」街頭キャンペーンが12月18日に行われ、本クラブからも参加いたしました。市教育館ホールで集会ののち、大津通りを南へ向かい、松坂屋の手前から久屋通りを栄町角まで行進し、街頭の人々にキャンペーンをいたしました。警察音楽隊のブラスバンドを先頭にして、各団体の参加者約300名が隊列を組み、栄町角で風船を放流後散会いたしました。

◇例会変更のお知らせ

名古屋名東RC 1/12(火) 名古屋和合RCとの合同例会の為、PM12:30より

名古屋和合RC 1/13(水) 名古屋名東RCと新年合同初例会の為、1/12(火)PM12:30より

名古屋大須RC 1/21(木) F.S.M.の為、ミュージックシャワーにてPM6:00より

◇次回例会(1月12日)

IGF報告の為、講演はございません。

◇次々回例会(1月19日)

講演 “スポーツから見た人間適性  
—限界への挑戦—”

名城大学教授学生部長

鈴木 絞吉 氏 (紹介 矢野君)